

A32 (桜井南部)

【 蘇我倉山田石川麻呂の創建寺跡 】

～ 山田寺跡 ～



山田寺は、大化の改新後の右大臣・蘇我倉
やまだのいしかわまろ

山田石川麻呂の発願により建て始められ、石川
麻呂の自害の後に塔や講堂が完成しました。伽
藍は、南北に塔・金堂を並べ、これを回廊で囲
み、さらに北側の伽藍中軸線上に講堂を置くも
ので、山田寺式伽藍配置と呼ばれています。

残念ながら、当時の山田寺は残存しません
が、山田寺跡は昭和二七年に国の特別史跡に指
定されています。また、昭和五十七年に行われ
た発掘調査では、倒壊した東回廊がそのままの
形で出土し、建築史学及び考古学の貴重な資料
となっています。また、現在は興福寺が所蔵し
ている白鳳仏頭(国宝)は、元来山田寺の本尊
であったものです。(桜井市 山田)